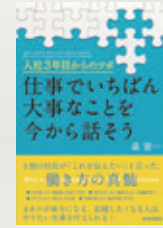


MORI KENICHI

- 社会人の学び場「ドラマネ勉強会」主催
- 株式会社サードステージコンサルティング 代表取締役
- 一般社団法人日本経営イノベーション協会代表理事
- 明治大学サービス創新研究所副所長

これまで1000社以上の会社と関わり、のべ3万人以上の経営者や従業員のサポートをし続けて来た、熱血教育コンサルタント。2012年からは、社会人のための学び場「ドラマネ勉強会」の代表講師を務め、業種もまったく異なる会社の従業員同士が学び合い、育成の成果を生み出す仕組みを確立、延べにして170社1500人以上の従業員が参加している。経営者からは、「従業員の可能性を絶対に諦めない先生」として定評がある。この「ドラマネ勉強会」における成果と実践は、一人ひとりがイキイキと活躍しながら、圧倒的な業績を上げる「学習の仕組み」として、大学と共同研究されているテーマが多数。著書に「ドラマティック・マネジメント(かんき出版)」「入社3年目からのツボ 仕事でいちばん大事なことを今から話そう(青春出版)」



入社3年目からのツボ
仕事でいちばん大事なことを
今から話そう
出版社:青春出版
金額:1400円+税



アルバイトも熱狂して動き出す
ドラマティック★マネジメント
出版社:かんき出版
金額:1400円+税

第8期ドラマティック・マネジメントアワード

● 壇上5チーム紹介

Strong

● アビリティセンター株式会社

- 所在地:愛媛県新居浜市
- 業種:総合人材サービス業
- 創業:1986年
- 従業員数:129名
- ドラマネ参加回数:初参加

今回のチームメンバーは、四国全県で展開する会社の一支店、松山オフィスから選ばれた若手メンバーたち。彼らが挑んだ目標は、過去最高利益の2倍前年未踏の高い高い目標への挑戦だった。彼らの行く手を阻んだ大きな大きな壁とは?

僕らの未来元年

● ケアールケープロデュース株式会社

- 所在地:東京都渋谷区
- 業種:ブライダル写真
企画販売・
イベント映像企画制作
- 創業:1999年
- 従業員数:168名
- ドラマネ参加回数:5回目

今回のチームメンバーは、個性派揃いの映像クリエイター、THE職人チーム。センスや技術を磨くことだけを考えた彼らが挑んだ目標は、なんと新規事業の立ち上げ数字なんて考えたこともなかった彼らが、この10ヵ月間でどんな変化を遂げたのか?

《勉強会講師》



森 憲一
MORI KENICHI

Hit and Rush

● 株式会社CRS埼玉

- 所在地:埼玉県川口市
- 業種:自動車リサイクル業
- 創業:2004年
- 従業員数:59名
- ドラマネ参加回数:初参加

今回のチームメンバーは、創業当初から会社を支えてきた幹部社員たち。高い高い目標を掲げ、社内を巻き込もうとした時、彼らの前に大きな壁が立ちました。彼らが直面した「マネジメントの壁」とは?!

ぼーだれす

● 株式会社 ライフフードプロデュース

- 所在地:神奈川県海老名市
- 業種:飲食、ディサービス、
保育園の経営など
- 創業:1999年
- 従業員数:45名
- ドラマネ参加回数:4回目

今回のチームメンバーは、飲食、ストレッチやディサービス、保育園、本部と業種の異なるリーダーたちで構成された混合チーム。参加の目的は、部署の垣根を超え、一丸となって目標に向かう組織へと変革すること。彼らはONE TEAMIになれたのか?!

X-Plerun

● 株式会社 メディケー

- 所在地:神奈川県藤沢市
- 業種:福祉用具レンタル、
販売、住宅改修など
- 創業:1980年
- 従業員数:241名
- ドラマネ参加回数:7回目

今回のチームメンバーは、4月に入社したばかりの新卒社員たち。彼らの掲げた目標は、新卒の教育プログラムを作ること。入社したばかりの彼らが会社を知り、仕事を知り、上司や仲間への感謝を知り、わずか10ヶ月で成し遂げた大きな成果とは?!

《勉強会顧問》



戸田 博人
TODA HIROTO

TODA HIROTO

富士通ラーニングメディアナレッジサービス事業本部、特定非営利活動法人日本e-Learning学会理事、熊本大学大学院社会文化科学研究科、教授シテム学専攻客員教授、明治大学サービス創新研究所客員研究員、一般社団法人教育システム情報学会社員。



第8期を終えて
見えたもの。

【森】今期も本当にありがとうございました!戸田さんから見ると、今期の活動で一番印象に残ったことは何でしょうか?

【戸田】今期も…ですが(笑)、やはり目標設定には苦しまれていたように思います。「いい目標を立てる」ということはとても難しいことなんだなと思いますね。

【森】いい目標、つまり「誰もが自分ごとになれる目標」を設定するということですね。どの会社も目標は立てていると思うのですが、「目標そのもの」を戦略的に立てている会社は少ないように思いますね。

【戸田】どうしても、目の前の仕事をこなすことで精一杯になりますから、立ち止まってじっくりと考えたり、定期的に振り返る時間が取れないようですね。でも、参加者の皆さんは、少しずつ、こうしたことが大切だということに気づき始めている。勉強会後半になるに従って、「振り返り」や「じっくり考える」という習慣が身につく様子は、データを取ってみてもよく分かりますね。

【森】また、こちらも毎年恒例ですが、全てのチームが「巻き込み」に悩んでいましたね。

【戸田】そうですね。自分たちだけで目標を目指すのではなく、社内をうまく巻き込んで、チー

ムで達成を目指す。ここに皆さん苦勞されていたように感じます。

【森】社内を「巻き込む」というと、どうしても誰もが、一斉メールやSNSなどで済ませようとしたり、会議でみんなに話をすれば「伝わっているもの」だと勘違している。結果、誰にも届いていない、響いていない。だから誰も動かない。これも毎年恒例ですけど(笑)。

【戸田】そうですね。やはりコミュニケーションの基本は、「論理(事実)」だけではダメで、そこには「感情」も必要です。でもその根底に「信頼」というものがなければ始まらない。当然です

が、信頼関係があった上での、コミュニケーションなんです。

【森】「みんな」という人はいない。だからこそ、巻き込みは「みんな」や「誰か」じゃなくて「一人ひとり」との信頼関係をつくり続ける以外にないんだということ。これは、最終的には全員が強く意識していたことだと思います。身をもって学びますからね(笑)。

【戸田】そうした社内への巻き込み意識の延長線上に、ドラマネ勉強会メンバー同士の強い絆や、相互支援にも繋がったんじゃないかという気がします。

【森】参加したすべてのチームが、目標設定に悩み、巻き込みにもがき続けた10ヵ月間でしたが、全てのチームが大きな変化成長を果たしてくれました。全チーム壇上に上がっていてもいいかなと思ったほどです。

【戸田】そうですね。だから初めて敗者復活戦もやりましたね。その分も、壇上チームには頑張ってもらいたいです。

【森】そうですね。今回も、たくさんの学びを届けて欲しいと思います。戸田さん、ありがとうございました。

【戸田】ありがとうございました。

Official Sponsors

一般社団法人フューネラル・フラワー技能検定協会

ドラマネ勉強会講師
森 憲一 著書

贈る言葉 リーダーに

Third Stage Consulting
サードステージコンサルティング

葬祭装飾花に関わるすべての方へ
～技術の向上と社員教育にAFFAが提供するサービス～

資格認定事業
教育研修事業

一般社団法人フューネラル・フラワー技能検定協会
事務局 〒154-0015 東京都世田谷区柴町 2-12-22 株式会社ユー・花園 本社ビル 3F TEL:03-5799-6221
各種詳細情報はホームページからご覧ください。 http://affa.or.jp/

優しさと品格をテーマに
ご寺院・ご僧侶を
ご紹介いたします

日本 典 礼 寺 院 協 会

東京都調布市小島町 3-69-14
第二荒井麗峰ビル 6F
TEL:042-426-8940 FAX:042-426-8941
http://soryo.jp

葬儀・相続・お墓
まずは、**ご相談**

葬儀社による!
葬儀社のための!

葬儀事業者専用プラットフォーム
MUSUBYS

葬儀社 アーバンフューネスコポレーション
135-0061 東京都江東区豊洲5-4-9KR豊洲ビル 5F
TEL:03-5144-0671 FAX:03-5144-0672
https://www.urban-funes.com

新しい時代の写真の活用方法を創造します。

遺影バンク
ieibank.com
ご自身やご家族のお写真を無料で保存できます。お預けいただいたお写真を遺影写真として全国の葬儀社でご利用いただけます。

myBOOK
mybook.co.jp
世界に一本だけの写真集を楽しく、簡単に作る事ができます。手のひらサイズから 30センチ角まで豊富なラインナップ!

ASUKANET 株式会社 アスカネット www.mds.ne.jp
広島市安佐南区祇園3-28-14 TEL:082-850-1200(代表)

KRK PRODUCE

PHOENIX KYOEI
cosmic basket
729-3111 広島県福山市新市町金丸 438-1 TEL:0847-571-8001 FAX:0547-57-8853

株式会社サンセルモ	アビリティセンター株式会社
株式会社ナカジマ・プランニング	株式会社アーバンはるか
株式会社CRS埼玉	株式会社あいネットサービス
株式会社ライフフードプロデュース	

【ドラマティック・マネジメントアワード実行委員会】

●勉強会講師

森 憲一

(株式会社サードステージコンサルティング代表取締役・明治大学サービス創新研究所 副所長)

戸田博人

(株式会社富士通ラーニングメディアナレッジサービス事業本部)

●ドラマネ製作委員

委員長 中川貴之 (株式会社アーバンフューネスコポレーション代表取締役社長)

プロデューサー 森 貴子 (株式会社サードステージコンサルティング取締役)

●イベント製作

寺田 博 (ケアーフルケーププロデュース株式会社 マネージャー)

車谷優慈 (ケアーフルケーププロデュース株式会社 事業部長)

神谷岳志 (ケアーフルケーププロデュース株式会社)

小野崎敦 (株式会社アーバンフューネスコポレーション)

岡崎裕介 (株式会社アーバンフューネスコポレーション)

●パブリシティ

脇本修一 (日本印刷株式会社 新規事業部長)

小枝宏光 (有限会社クリアサウン)

阪井 和男 (顧問・審査員長)



東京理科大学理学部物理学科卒、同大学院修士課程物理学専攻を経て博士課程を退学(6年間在籍)。ソフトハウスに勤務し理学博士号を取得。サイエンスライターを経て明治大学法学部専任講師、助教授を経て、教授に就任。明治大学サービス創新研究所所長。ドラッカー学会代表理事、日本ビジネス・コミュニケーション学会副会長、アカデミック・コーチング学会副会長など。研究テーマは組織と社会の死生学。経営学から死生学まで多岐にわたる研究をテーマとしている。

新城 洋一 (審査員)



戦後の成長期に千葉県を中心に数々のホテルを創業。5建目となる「ホテル・ザ・マンハッタン(海浜幕張)」は、高級ホテルの草分けとして国内5つ星ホテルがモデルとするなど、業界に大きな影響を与えた。また、アメリカの全国紙「USAトゥデイ」が報じたことで世界中のさらなる注目を集めた。ホテルマンとして日本のバイオニア的存在として知られている一方で、(社)日本ホテル協会等、数々の団体役職に従事している。

佐藤 尊徳 (審査員)



明治大学卒業後、株式会社経済界に入社し、創業者・佐藤正忠氏の随行秘書に就く。雑誌「経済界」の編集長も務め、各界の著名人のインタビューで見聞を広めると共に、ネットワークを構築。平成25年、22年間務めた経済界を退職し、株式会社損得舎を設立。電子雑誌「政経電論」を創刊。総理大臣をはじめとする政治家、経営者、著名人ら社会に影響を持つ人物を数多く取材し、政治経済を独自の視点でわかりやすく解説している。

●ウェブサイト製作

桂 正典 (株式会社ゼウス代表取締役社長)

●カメラマン

伊東順也 (ビデオコング)

●ドラマネ主題歌

「仕事に、仲間に、人生に乾杯を!」(作詞・作曲 仲山卯月)

●Special Thanks

井上万都里 (株式会社いのうえ専務取締役)

渋谷英嗣 (有限会社オグ代表取締役社長)

武藤頼胡 (一般社団法人終活カウンセラー協会代表理事)

櫻井智之 (有限会社さくら代表取締役社長)

栗原正宗 (株式会社共栄専務取締役)

後藤康太 (株式会社メディケアー代表取締役社長)

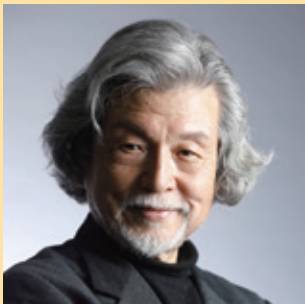
山里 彰 (株式会社 TIER PRECIOUS代表取締役社長)

境 健一郎 (顧問・審査員)



経済誌記者として1500人以上の経営者取材、また書籍編集長として数々ヒット作を出版。1980年35歳のとき、(株)かんき出版の社長としてスカウトされ、出版事業と社員教育事業の出版社へと成長させる。2010年、社長在任30年を期に勇退。2017年、最高顧問を引退。現在、コトづくり研究会代表。そのほか数社の社外取締役、監査役を務める。

吉川 宗男 (審査員)



ハワイ大学名誉教授、IMGS国際メンターシップ大学院大学学長、専門分野は人間学(出会いの哲学)、人間関係論、リーダーシップ論。日本企業のみならず、多国籍企業で人材育成、リーダーシップ研修などにも携わっている。著書は「出会いを哲学する」「文化摩擦解消のいとぐち」など。アルバート・シュバイツァー賞、ハワイ大学最優秀ティーチング賞受賞、哲学博士。

菅原 勇一郎 (審査員)



立教大学経済学部経営学科を卒業後、富士銀行、流通マーケティング会社を経て、平成9年に株式会社玉子屋 常務取締役として入社。平成16年に同代表取締役社長に就任。「カンパリア宮殿」等メディアに多数取り上げられ、独自の経営手法は米国スタンフォード大学の大学院生が視察に訪れるなど注目。平成16年より世界経済フォーラム(通称ダボス会議)のフォーラムメンバーに選出されている。

学生企画



これまで、多くの学生や新卒の方々とお知らせさせていただく中で、私たちがずっと気になっていたことがありました。それは、学生が、社会人として働くという現実を全く想像できていないということです。受け入れの企業側ではインターンや職場体験を始め、様々な企画を実施しながら、入社前後のギャップを埋めようと努めていますが、中々上手くいっているようには思えません。もっとも学生に、仕事の現場感、本気で仕事に向かっている姿勢、そんな社会人の熱が伝わるのが大事なのではないかと、そのように感じていました。

そんな中、私たちの積年の想いを実現することができたのが今期の勉強会(途中から)でした。ドラマネ参加メンバーが懸命に動いてくれて、産業能率大学の佐藤先生のゼミ生が参加をしてくれるようになったのです。案の定、学生たちの新

鮮で真剣な姿勢に刺激を受け、ドラマネメンバーたちの取り組みにも緊張感が生まれました。また学生たちにとっても、他に類を見ないリアルな社会人の現場感を体験できる最高の場となったのではないかと感じています。

初めての試み故に、まだまだ改善の余地は大いにありますが、先生方のご協力と初参加の学生たち、ドラマネメンバーの相互支援により、初めてとしては素晴らしい成果を残すことができたのではないかと感じています。ありがとうございます。来年以降も、多くの方々のご協力を頂戴しながら、さらに進化した場を創造し続けて参りたいと考えております。

全ての皆様に、心より感謝を込めて。

プロデューサー 森 貴子



決勝投票フォーム

<https://forms.gle/rA9kZbKgf9ua9S6C9>

ドラマネ製作委員会 実行委員長挨拶

継続は力なり。始めることより、継続することが何より大変だということは、誰もが身をもって感じていることと思います。

ドラマネがこうして8期まで継続してこられたのも、参加企業経営者のご協力や、勉強会講師の先生方と受講生との信頼関係、この会場にお越しいただいている皆様、支えてくださる審査員の先生方、そして、私たちの活動に共感しご賛賞くださる皆様のお力添えと、関わるすべての方との相互支援によるものだと思っております。皆様には心より感謝を申し上げます。

おかげさまで、ドラマネは回を重ねるごとに進化を続け、第8期勉強会も大変質の高い学びの場となりました。私は参加企業の経営者としてもこの勉強会に関わっており

働くすべての人のために。

詳しくはドラマネHPへ ▶ <https://www.doramane.com>



DRAMATIC
MANAGEMENT
AWARDS

DRAMATIC MANAGEMENT AWARDS

ドラマティック・マネジメントアワード

全力社会人
本気になるだけ笑顔になれる



<https://www.facebook.com/doramaneaward/>